

市議会議員
かけのまち子

電話/Fax 53-7727
kakenom@xj.commufa.jp



市議会議員
みわ 陽子

電話/Fax 54-6712
yokko0520mi@yahoo.co.jp



NO. 471 2020.11.12
日本共産党江南市委員会

あすの江南

前市議 森ケイ子 電話/Fax 57-2753
前市議 東よしき 電話/Fax 54-7977

* 困り事は早めにお気軽にご相談ください

日本共産党江南市議員団 HP

検索

核兵器禁止条約に 参加する日本政府に

江南市議会からも意見書を 近隣の岩倉、犬山、扶桑、大口の各議会は提出済み



愛知県平和委員会青年学生部 Twitter より

核兵器を違法なものとする、核兵器禁止条約の批准国が50か国に達し、ついに来年1月に発効することが決まりました。広島、長崎の被爆者をはじめ「核兵器のない世界」を求める圧倒的な世論が、歴史を動かしました。ところが日本政府は、唯一の戦争被爆国でありながら、この条約に背を向け続けています。恥ずかしい限りです。

今こそ、日本政府に、核兵器禁止条約に参加するよう迫っていくことが必要です。近隣の岩倉、犬山、扶桑、大口の各議会は政府に対し、条約への参加を求める意見書を採択し提出済みです。

しかし江南市議会は・・・2年前、県内の被爆者（愛友会）などが江南市議会に出した「国に意見書の提出を求める請願」をなんと賛成少数で否決。いまだ提出できていません。市議会への市民からの要請行動も必要となっています。

子どものインフルエンザワクチン助成、県内自治体に広がっています 請願採択したのに、未実施の江南市

心配していた秋冬の新型コロナ第3波が到来。インフルエンザとの同時流行の怖れもあり、今年ほどインフルエンザワクチン接種が重要な年はありません。県内では、既に24自治体（日本共産党愛知県委員会調べ）が子どもや妊婦に対し、インフルエンザワクチンの助成を行うなど、どんどん助成実施が増えていることがわかりました。（今年度限り助成の自治体も含む）
ところが江南市は、2年前に市議会が請願を採択したにもかかわらずワクチン不足のおそれがあるとの理由で、未だに実施していません。

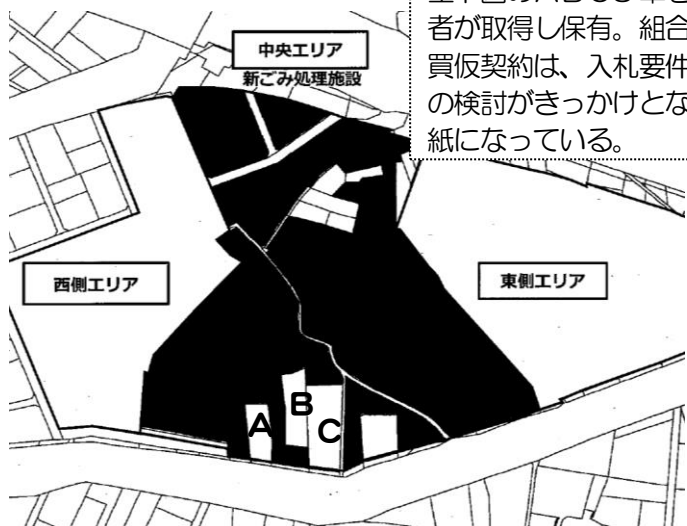
【主な県内の助成自治体と助成内容】

東海市	子ども（中学3年と高校3年、無料）
知多市	子ども（中学3年と高校3年、無料）
瀬戸市	妊婦と子ども（生後6か月～中学3年、1人1回2000円、2回まで）
清須市	妊婦と子ども（生後6か月～18歳、1人1回1000円）
岩倉市	妊婦と子ども（生後6か月～小学2年、1回1000円、子どもは2回）
稲沢市	子ども（中学3年、2000円）
北名古屋	子ども（1歳～中学3年、1000円、13歳未満は2回）
あま市	子ども（満1歳～中学3年、1000円、小学6年生までは2回）



新ごみ処理施設の入札妨害・入札中断 建設業者3社が不可解な用地取得…

新ごみ処理施設建設地の中般若町北浦（中央の黒い部分）左下図のABC3筆を建設業者が取得し保有。組合との売買仮契約は、入札要件見直しの検討がきっかけとなって白紙になっている。



日本共産党が業者と話し合い

あすの江南NO. 469を見た当該建設業者（株）名北の代表取締役、水野氏から掛布議員に対し「記事に大きな間違いがある。うちが悪者のように書かれている」「掛布議員と尾張北部環境組合、名北の三者で話がしたい」と連絡がありました。

あすの江南は、組合全員協議会や江南市議会全員協議会の報告に基づき正確に、しかも個人情報に配慮し業者名を伏せて記載したものです。昨年暮れから今年にかけて、相次いで用地を取得した業者の一つ（株）名北（用地Aを保有）からの要求に応じ、江南市の掛布議員と大口町の吉田正議員が三者の話し合いに参加しました。

（株）名北の水野氏は「新ごみ処理施設に反対ではない。用地売買契約は保留のつもり。このまま進めてほしい」北浦の土地をなぜ組合に売らず名北が買ったのかとの問いに対しては「新ごみ処理施設の建設地に入っていないと思っており、債権整理の中で取得した」など、とても真実とは思えない説明がありました。

掛布・吉田両議員は、「話はしっかり伺ったが、納得できたかどうかは別問題」と締めくくり、話し合いを終えました。

組合側は、用地を何としても売ってもらうために3業者と交渉を継続したいとしています。公正公平な入札実施のために、さらに調査が必要です。